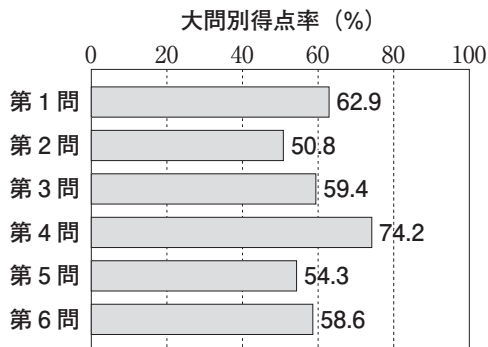
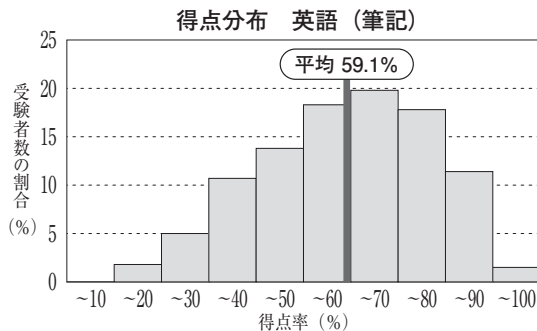


## 英語 (筆記)

## 語彙・文法・構文力の完成に取り組もう。

## I. 全体講評

今回の高2レベルマーク模試(筆記)の平均点は、118.1点(59.1%)であった。この模試は、第1問・第2問は語彙・文法・語法を中心とした基礎学力を測る問題、第3問～第6問は、実際のセンター試験に近いレベルの読解問題となっている。今回の大問別の結果を見ると、第2問の文法・語法問題の得点率が50.8%で最も低かった。第1問・第2問では、熟語の知識を必要とする問題の正答率が低い傾向が見られた。今回の模試を通じて、各自、語彙・文法の基本の徹底を図り、未習事項が残っている場合は早期完成に向けて計画を立て、学習に取り組んでいこう。



## II. 大問別分析

## 第1問 A, B 発音・アクセント

正しく発音しながら語彙力をつけていこう。

第1問 A, B は、基本的な発音・アクセントの定着度を確かめる問題である。正答率が低かったのは A-問3(16.2%)と B-問3(18.1%)の2問で、その他はいずれも60%を超える正答率であった。基本的な語彙は音声とあわせて身につけているが、語彙レベルが少し上がるとまだ不確かなものが多いようである。正答率が低かった B-問3の単語のアクセントの位置を確認しておく、*admirable*(賞賛すべき)、*anxiety*(不安)、*inferior*(劣った)、*intérpreter*(通訳)となる。

## 第1問 C・D 語彙 [単語・熟語]

日頃から語彙力強化に努めよう。

単語・熟語は英語学習の基本である。単語・熟語は繰り返し学習することで確実に身につくので、基本的な語彙の学習はできるだけ早期に一巡させて繰り返そう。第1問 C・D に出てくる単語・熟語は、いずれも今のうちにしっかりと身につけてほしいものばかりである。Cでは問5の *praise*(ほめる)を除いて60%以上の正答率で、全体に基本語彙の獲得は上がりつつあることがうかがわれる。他方、Dでは8問中4問が60%未満の正答率で、熟語の学習がまだ不十分な者が多いことがうかがわれる。熟語についても早期完成を目指して計画的に学習を進めよう。

## 第2問 文法・語法・構文

基本的な文法・語法を確実に身につけよう。

第2問は文法・語法・構文の基礎知識を問う問題だが、これらは実際に英語を運用するための基本ルールである。できなかった問題はよく理解して確実に身につけよう。Aで正答率が60%未満だったものは、問6と問8であった。問6は *what A was*(昔のA)、問8は *one / the other*(2つのものの、一方/他方)を問う問題で、しっかりと使えるよう

にしておきたい表現である。Bの整序作文問題では、問1の正答率が17.9%と低く、keep an eye on～(～を注意深く見守る)という熟語が身につけていないことがうかがえた。また、Cは文脈に合う基本的な英文を完成させる問題だが、正答率がいずれも50%未満であった。しっかり復習しておこう。

### 第3問 読解問題 (段落完成)

文章を論理的に読み解く力をつけよう。

第3問は、説明文の読み方、あるいは英語の文章の書き方の基本を理解しているかを問う問題である。Aは文と文の論理的なつながりを考えて適切なつなぎ語句を選ぶ問題。Bは段落のテーマを考え、脇道にそれるような不要文を削除する問題。Cは各段落の要旨を把握し、それぞれの段落に欠けている1文を補い、3段落からなる文章を完成させる問題。いずれも「文章の組み立て」に関する理解が問われている。

Bの不要文削除の正答率が18.5%と低かった。下線部の後の最終文との整合性から答えを判断する必要がある問題であったが、下線部だけを読んで、そのあとの文まできちんと読まなかったために正解できなかったのではないと思われる。

### 第4問 読解問題 (図表・広告)

設問文を読み、必要な情報をすばやく拾う。

第4問では必要な情報をすばやく処理する力が問われている。過去のセンター試験の広告文では、医療機関の説明文書、フライト・スケジュール、英字新聞の広告、野球試合の広告、写真館の広告、マラソン大会参加申込要項、キャンプ場の案内、美術館の案内、ビデオクリップの作品募集、料理教室の広告など、身近で実用的な題材が扱われている。英語の説明文書や図表の中の必要な情報を正しく見極める力が問われており、冒頭から順に読んでいくのではなく、見出し等からどこにどのような情報が掲載されているのか見当をつけ、設問の解答に必要な情報をすばやく読み取ることが求められる。今回はA・Bともによくできていた。

### 第5問 読解問題 (意味推測・情報整理)

人物と場面を整理しながら読もう。

第5問は物語的な英文を適切に読む力を問うも

の。物語文では、人物・出来事・場面展開などを整理しながら読んでいく必要がある。また、問1は文脈から未知の語句の意味を推測する設問である。内容理解に関する問2、問3は正答率が50%を切り、2人に1人は正しく読んでいないという結果だった。

### 第6問 長文読解問題

段落ごとの要旨と文章の全体像を意識しよう。

第6問のような長めの説明文を読む際には、各段落の要点を把握することに加えて、段落相互のつながりについても意識して、全体像を描くことが重要となる。文章を読んでいて途中で何が書いてあるのか分からなくなってしまう人や、途中で前に何が書いてあったか忘れてしまう人は、段落ごとの要点を簡単にメモしながら、接続語句などに着目して段落相互の関係を意識して読むことを心がけよう。そして「テーマ→具体化→まとめ」といった文章全体の構成を頭の中に描きながら読み進められるようにしていこう。

## Ⅲ. 学習アドバイス

### ◆単語・熟語の学習

センター試験レベルの単語・熟語の学習を早急に終わらせるようにしましょう。『英単語センター1800』や『英熟語センター750』などの単語集・熟語集をできるだけ早く一巡し、定期的に繰り返し確認を行うこと。なお、単語を覚えるときには必ず声に出して発音やアクセントも身につけていくことが大切である。

### ◆文法の学習

文法の未習事項が残っている人は、それをできるだけ早く学習し終えることが最優先の課題となる。基本的な文法事項の学習を一通り終えて、早く全体像を俯瞰できるようにしよう。

### ◆構文の学習

文法学習を一通り終えた人は、長文読解の学習に入る前に文構造[構文]の学習を行おう。基本的な構文を扱う教材を使い、文法の復習をかねて基本構文をマスターしよう。

**◆読解の学習**

高2生までは、しっかりとした英語の基礎学力をつけることに主眼を置いて学習してほしい。そのための最も効果的な学習方法は音読である。音読を繰り返すことで、英文の流れやリズムが身体にしみこみ、すべての土台となる英語の基礎体力が養われる。こうした学習を習慣化しよう。